

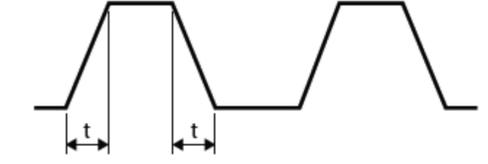
仕様		MELSEC-AnSシリーズ		MELSEC-Qシリーズ			MELSEC-Qシリーズ		MELSEC-Qシリーズ	
		A1SD61		QD62			QD62-H01		QD62-H02	
仕様		設定ピンによる切換え		インテリジェント機能ユニットスイッチ設定による切換え			インテリジェント機能ユニットスイッチ設定による設定		インテリジェント機能ユニットスイッチ設定による設定	
計数速度切換え設定		50k側	10k側	200k (100k~200kPPS)	100k (10k~100kPPS)	10k (10kPPS以下)	50k固定		10k固定	
チャンネル数		1チャンネル		2チャンネル			2チャンネル		2チャンネル	
カウント 入力信号	相	1相入力 2相入力		1相入力(1通倍/2通倍) 2相入力(1通倍/2通倍/4通倍) CW/CCW入力			1相入力(1通倍/2通倍) 2相入力(1通倍/2通倍/4通倍) CW/CCW入力		1相入力(1通倍/2通倍) 2相入力(1通倍/2通倍/4通倍) CW/CCW入力	
	信号レベル (φA,φB)	DC5/12/24V 2~5mA		DC5/12/24V 2~5mA			DC5/12/24V 2~5mA		DC5/12/24V 2~5mA	
カウンタ	計数速度(最高)	1相入力:50kPPS 2相入力:50kPPS	1相入力:10kPPS 2相入力:7kPPS	200kPPS (※1)	100kPPS (※1)	10kPPS (※1)	1相入力:50kPPS (※2) 2相入力:50kPPS (※2)		1相入力:10kPPS (※3) 2相入力:7kPPS (※3)	
	計数範囲	32ビット符号付バイナリ -2147483648~2147483647		32ビット符号付バイナリ -2147483648~2147483647			32ビット符号付バイナリ -2147483648~2147483647		32ビット符号付バイナリ -2147483648~2147483647	
	型式	UP/DOWNプリセットカウンタ+リングカウンタ機能		UP/DOWNプリセットカウンタ+リングカウンタ機能			UP/DOWNプリセットカウンタ+リングカウンタ機能		UP/DOWNプリセットカウンタ+リングカウンタ機能	
カウンタ	最小カウントパルス幅 (デューティ比50%)									
		リミットスイッチ 出力	比較範囲	32ビット符号付バイナリ		-			-	
一致出力	比較結果	a接点動作:ドグONアドレス≤カウント値≤ドグOFFアドレス b接点動作:ドグOFFアドレス≤カウント値≤ドグONアドレス		-			-		-	
	比較範囲	-		32ビット符号付バイナリ 設定値<カウント値 設定値=カウント値 設定値>カウント値			32ビット符号付バイナリ 設定値<カウント値 設定値=カウント値 設定値>カウント値		32ビット符号付バイナリ 設定値<カウント値 設定値=カウント値 設定値>カウント値	
外部入力	プリセット	DC5/12/24V 2~5mA		DC5/12/24V 2~5mA			DC5/12/24V 2~5mA		DC5/12/24V 2~5mA	
	ファンクションスタート	-		-			-		-	
外部出力	リミットスイッチ出力	トランジスタ(オープンコレクタ)出力 DC12/24V 0.1A/1点 0.8A/1コモン		-			-		-	
	一致出力	-		トランジスタ(シンクタイプ)出力 DC12/24V 0.5A/1点 2A/1コモン			トランジスタ(シンクタイプ)出力 DC12/24V 0.5A/1点 2A/1コモン		トランジスタ(シンクタイプ)出力 DC12/24V 0.5A/1点 2A/1コモン	
入出力占有点数		32点		16点			16点		16点	
接続方式		20点端子台		40ピンコネクタ			40ピンコネクタ		40ピンコネクタ	
内部消費電流(DC5V)		0.35A		0.30A			0.30A		0.30A	

※1:計数速度はパルスの立上がり、立下がり時間(t)に影響されます。カウント可能な計数速度は下表のとおりです。
立上がり、立下がり時間が大きいパルスをカウントすると、誤カウントになる恐れがあるため注意が必要です。

立上がり、 立下がり時間	計数速度切換え設定		
	1相入力、2相入力共通		
t=1.25µs以下	200kPPS	100kPPS	10kPPS
t=2.5µs以下	100kPPS	100kPPS	10kPPS
t=25µs以下	-	10kPPS	10kPPS
t=500µs	-	-	500PPS

※2:計数速度はパルスの立上がり、立下がり時間(t)に影響されます。カウント可能な計数速度は下表のとおりです。
t=50µsより大きいパルスをカウントすると、誤カウントになる恐れがあるため注意が必要です。

立上がり、立下がり時間	1相入力、2相入力共通
t=5µs	50kPPS
t=50µs	5kPPS



※3:計数速度はパルスの立上がり、立下がり時間(t)に影響されます。カウント可能な計数速度は下表のとおりです。
t=500µsより大きいパルスをカウントすると、誤カウントになる恐れがあるため注意が必要です。

立上がり、立下がり時間	1相入力	2相入力
t=5µs	10kPPS	7kPPS
t=500µs	500PPS	250PPS

(注)3. □は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。
4.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置き換える上で仕様の制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

●プログラム上の注意
(1)A1SD61とQD62では、入出力信号(X、Y)およびバッファメモリアドレスの割付けが異なるため、シーケンスプログラムの変更が必要です。
(2)A1SD61のリミットスイッチ出力機能は、QD62の一致出力機能で代用することになりますので、シーケンスプログラムの変更が必要です。
(3)QD62では、CH1の入出力信号(X、Y)およびバッファメモリアドレスを使用してください。CH2では動作しません。
(4)A1SD61において設定ピンで行っていた計数速度設定は、QD62ではインテリジェント機能ユニットスイッチ設定にて行います。